

「テンプレートン・グローバル株式ファンド」の5月6日の基準価額の下落について

2010年5月6日の当ファンドの基準価額は、4月30日比293円下落(▲5.07%)し、5,490円となりました。

ギリシャの債務危機や同様の問題を抱える他の南欧諸国へ危機が波及する懸念が一段と強まったことなどを背景に、世界の主要な株式市場は、4月30日から5月5日にかけて、ほぼ全面安となりました。特に債務危機の渦中にある欧州株式市場は、北・中南米やアジアの株式市場に比べると大きく下落しました。

ギリシャの財政問題への不安が高まる中、ユーロ圏16カ国と国際通貨基金(IMF)は2日、3年間で総額1,110億ユーロをギリシャに融資することで合意しました。これを受けて3日の欧州株式市場は一旦、小反発して始まったものの上値は重く、むしろギリシャへの融資額が巨額であることに対する懸念やポルトガル、スペインなど他の南欧諸国への波及懸念が強まり、4日以降は米国株式市場も含めて、主要な株式市場はほぼ全面安となりました。5日に米国の大手格付け機関がポルトガルを格下げの方向で見直すことと発表したことも、債務危機への不安感を高める要因となりました。

また、この間の外国為替市場では、南欧諸国の債務危機に対する警戒感からユーロや英ポンドなど欧州通貨が円や米ドルに対して売り込まれました。

世界経済は中国やインドなどの新興国を牽引役とした回復過程にあります。また、米国ではサプライマネジメント協会(ISM)が発表した4月の製造業景況感指数がほぼ6年ぶりのペースで拡大するなど、先進国の景気は明るさを増しています。しかし、南欧諸国での債務危機への警戒感の高まりや、中国や豪州など景気回復で先行する一部の国々の金融引き締めへの懸念などから、当面、世界の株式市場は不安定な展開が続く可能性があると考えています。

以上

<ご参考>

(主要株価指数)

	4月29日 (A)	4月30日	5月3日	5月4日	5月5日 (B)	騰落率 (B)/(A)
MSCI World インデックス(米ドルベース)	3,980.768	3,949.718	3,963.146	3,862.591	3,820.255	▲4.03%
米国(ダウ工業株30種平均)	11,167.32	11,008.61	11,151.83	10,926.77	10,868.12	▲2.68%
欧州(ダウ・ジョーンズ・ユーロ・ストックス50指数)	2,828.12	2,816.86	2,816.50	2,708.12	2,679.30	▲5.26%
英国(FT100指数)	5,617.84	5,553.29	休場	5,411.11	5,341.93	▲4.91%
中国(上海総合指数)	2,868.432	2,870.611	休場	2,835.277	2,857.151	▲0.39%

(出所:ブルームバーグ)

(為替レート 円/主要通貨)

	4月30日	5月6日	騰落率
米ドル	94.07	93.63	▲0.47%
ユーロ	124.48	120.13	▲3.49%
英ポンド	144.22	141.73	▲1.73%

※為替レートは三菱東京UFJ銀行が発表する対顧客電信売買相場の仲値

●MSCI インデックスは、MSCIが開発した時価総額株価指数です。同指数の著作権、知的財産その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。なお、同指数はグロス配当込みを使用しています。
●ダウ・ジョーンズ及び、ダウ工業株30種平均は、ダウ・ジョーンズ・アンド・カンパニー・インクの標章です。ダウ工業株30種平均の数値及び関連するデータに対する知的財産その他一切の権利はダウ・ジョーンズ・アンド・カンパニー・インクに帰属します。

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社が作成したものです。取得のお申込みに当たっては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡ししますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績は過去のもの(税引前)であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

◆投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・ファンドのお申込みは

◆設定・運用は

フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社

ファンドの特色

- 1** 当ファンドは、テンプレートン・グローバル・アドバイザーズ・リミテッド(TGAL)が運用する3つの外貨建て投資信託証券(投資対象ファンド)を通じて、主として世界各国の株式に投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指します。

 - TGALは、フランクリン・テンプレートン・グループの主要な運用会社の1つであり、米国でグローバル株式の運用会社として草分け的な存在であるテンプレートンの投資理念を受け継いでいます。
 - テンプレートン ブランドの代表ファンドである「テンプレートン・グロース・ファンド」は、米国投資信託業界初のグローバル株式ファンドとして1954年に設定されました。

※3つの投資対象ファンドの組入れは、投資対象ファンドの資金動向や資産状況等を勘案して行います。
- 2** 投資対象ファンドは、あらかじめ特定の業種、国、地域等への投資配分を定めず、ボトム・アップアプローチによって世界各国の株式に投資します。組入銘柄は、株価がテンプレートンの投資理念に基づいて評価した企業価値を下回る銘柄の中から選定されます。

 - 投資対象ファンドが組み入れる株式は、新興国市場の株式を含みます。
 - 市場の状況によっては、純資産総額の25%を限度として世界各国の債券等を組み入れることがあります。
- 3** 当ファンドの外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わないこととします。

<主な投資リスク> 当ファンドの投資にあたっては、主として下記のようなリスクが想定されます。

当ファンドの運用により生じた利益および損失はすべて投資家の皆様に帰属します。取得申込者は、当ファンドのリスクを認識することが求められます。(なお、当ファンドのリスクは以下に限定されるものではありませんのでご留意ください。)

1. 価格変動リスク	<p>○有価証券等の価格変動リスク: 当ファンドは、投資信託証券(投資対象ファンド)への投資を通じて世界各国の株式などの値動きのある有価証券等に投資します。したがって、当ファンドの基準価額は、当ファンドおよび投資対象ファンドが組入れたこれら有価証券等の市場価格の変動による影響を受けます。</p> <p>○為替変動リスク: 外貨建資産への投資を行う場合には、為替相場の変動による影響を受けます。当ファンドが投資を行う投資対象ファンドは米ドル建てです。当ファンドは原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動の影響を受けます。また、投資対象ファンドは、世界各国の有価証券等に投資しますので、投資対象ファンドの基準価額は、為替相場の変動の影響を受けます。</p>
2. 流動性リスク	<p>市場規模や取引量が少ない場合、組入有価証券等を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があり、不測の損失を被ることがあります。このような場合には、当ファンドの基準価額はその影響を受けることがあります。</p>
3. 信用リスク	<p>当ファンドおよび投資対象ファンドが保有する有価証券等の発行体および有価証券等の取引の相手方の経営・財務状況の変化ならびにそれらに関する外部評価の変化等により、損失を被ることがあります。このような場合には、当ファンドの基準価額はその影響を受けることがあります。</p>
4. カントリーリスク	<p>世界各国の金融・証券市場への投資は、それらの国・地域の政治、経済および社会情勢の変化等によって市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな制限や規制が設けられた等の場合には、運用上の制約を受ける可能性があります。このような場合に、当ファンドの基準価額はその影響を受けることがあります。また、新興国の金融・証券市場への投資には、政治・経済構造が先進国と比べ不安定であるため、投資環境の急変により市場が混乱した場合や取引に対して新たな制限や規制が設けられた場合、運用上の制約を大きく受ける可能性が想定されます。このような場合に、当ファンドの基準価額はその影響を受けることがあります。</p>

※その他、ご投資にあたっては、ご留意事項がございますので投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

<投資信託ご購入時の注意点>

- 当ファンドは、投資信託証券(投資対象ファンド)への投資を通じて、主として世界各国の株式に投資を行います。当ファンドの基準価額は、投資信託証券(投資対象ファンド)および投資信託証券(投資対象ファンド)の組入れた有価証券等の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託証券(投資対象ファンド)および投資信託証券(投資対象ファンド)の組入れた有価証券等の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託は預金等ではなく、預金保険機構の保険金の支払対象ではありません。
- 投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の補償対象契約ではありません。
- 投資信託は元本は保証されていません。
- 登録金融機関は、金融商品取引業者とは異なり、投資者保護基金に加入していません。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社が作成したものです。取得のお申込みに当たっては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡ししますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績は過去のもの(税引前)であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

<お申込みメモ> (お申込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)

信託設定日	2007年2月23日
信託期間	原則として無期限 ※ただし受益権の残存口数が5億口を下回ることになった場合、受益者のために有利と認められる場合、やむを得ない事情が発生したとき等は、信託を終了する場合があります。
取得のお申込み	原則としていつでもお申込みいただけます。ただし、ニューヨーク証券取引所またはニューヨークにおける銀行の休業日には取得のお申込みの受付を行いません。※取得申込みの受付は、原則として午後3時までとします。ただし、受付時間は販売会社によって異なることもありますので、ご注意下さい。なお、これらの受付時間を過ぎてからのお申込みは翌営業日の取扱いとなります。
お申込単位	販売会社が定める単位です。
お申込価額	取得申込受付日の翌営業日の基準価額です。
収益分配(決算)	11月28日(ただし、休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。「自動けいぞく投資コース」の場合には、原則として分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。
ご換金の請求	原則としていつでもご換金の請求ができます。ただし、ニューヨーク証券取引所またはニューヨークにおける銀行の休業日にはご換金の請求の受付を行いません。※ご換金の請求の受付は、原則として午後3時までとします。ただし、受付時間は、販売会社によって異なることもありますので、ご注意下さい。なお、これらの受付時間を過ぎてからのご換金の請求は翌営業日の取扱いとなります。
ご換金単位	1口単位です。
ご換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額です。
ご換金代金のお支払い	換金請求受付日から起算して、原則として、5営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。 ※個人の投資家の場合です。法人の投資家の場合は異なる税金の取扱いとなります。 ※税法が改正された場合には、上記の内容が変更になることがあります。

【お客様には以下の費用をご負担いただきます。】

■お申込時に直接ご負担いただく費用

お申込手数料率	取得申込受付日の翌営業日の基準価額に、3.675%(税抜3.5%)を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額です。 なお、「自動けいぞく投資コース」を選択した受益者が収益分配金を再投資する場合には、お申込手数料はかかりません。 ※詳しくは販売会社にご確認下さい。
---------	---

■ご換金時に直接ご負担いただく費用

ご換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬	ファンドの純資産総額に年1.2075%(税抜1.15%)の率を乗じて得た額です。 ※投資対象ファンドの加重平均運用報酬率は年0.665%程度が上限となります。したがって、当ファンドの信託報酬率と投資対象ファンドの加重平均運用報酬率を合計したものは年1.8725%程度が上限(概算)となります。(運用報酬の他に管理費用等がかかります。)
------	--

その他費用	投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、投資信託財産にかかる監査費用、有価証券の保管費用、等を投資信託財産でご負担いただきます。 (その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に金額、上限額等を表示することができません。)
-------	---

※手数料・費用等には事前に計算できないものがあるため、その合計額等を表示することができません。

<委託会社、その他の関係法人>

委託会社 : フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第391号
加入協会/ 社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会

受託会社 : 三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社 : 三菱UFJ信託銀行株式会社
登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号
加入協会/ 日本証券業協会
社団法人金融先物取引業協会
社団法人投資信託協会

基準価額等については、委託会社の下記照会先までお問い合わせ下さい。
電話番号 : 03-3535-1299 (9:00~17:00 土・日・祝日および12月31日・1月2日・1月3日を除く)
ホームページ : <http://www.franklintempleton.co.jp/>

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社が作成したものです。取得のお申込みに当たっては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡ししますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績は過去のもの(税引前)であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。